

蛍池納涼祭に関する見学レポート

7月25日（土）17時から20時まで、第十八中学校で開催された「蛍池納涼祭」を見学しました。「蛍池納涼祭」は、蛍池納涼祭実行委員会が主催し、地域の方々と校区に住む子どもたちとの交流を目的として毎年開催されている行事で、今年度で39回目を迎えます。

グラウンドには模擬店やゲームコーナー、キッチンカーが並び、地域で活動している団体や飲食店、中学生、卒業生などが中心となって、さまざまな食べ物や飲み物を販売していました。また、グラウンドステージではダンスチームによる発表が行われ、青空の下で音楽に合わせて伸び伸びと踊る姿が印象的でした。



体育館では、第十八中学校吹奏楽部や、地域で小学生から大人まで幅広く活動している太鼓部、マジッククラブによる発表が行われていました。これらの団体は、普段は発表の機会が限られていることから、このお祭りに参加するようになったとのこと。体育館内にはお祭りらしい音や演出が響き渡り、来場者を魅了していました。

さらに、ゲーム券を1枚300円で販売しており、PTAの方々からの寄付によって、この券1枚で8種類のゲームを楽しめるよう工夫されていました。ゲームコーナーには長い行列ができるなど、大変な賑わいを見せていました。



このように、地域の幅広い世代が楽しめる催しが数多く用意されており、子どもの頃に参加者として楽しんでいた人たちが、成長して今度は運営側として関わる姿も見られました。世代を超えたつながりが受け継がれていることを感じることで、地域に根差した魅力あふれるお祭りでした。